

- 1 報告地区：渡島地区
- 2 事例報告学校名：七飯町立峠下小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 竹嶋 充
- 4 キーワード：体力向上



七飯町立峠下小学校



【開 校】明治13年7月13日
【児童数】30名 【学級数】 3学級
【教職員数】8名

学校教育目標

- 明るく個性的な子
- 自分で考え 進んで実行する子
- よく見 よく聞き 創造する子
- 強いからだと心の子

☆地域の実態☆

- ・戸数約250戸の農村地帯であるが、近年函館圏への通勤者が増えている。
- ・営農構造にも変化が見られ、稲作から畑作ハウス栽培へと移行しつつある。
- ・教育に対する関心が高く、学校には協力的で理解もある。地域との合同運動会をはじめ峠下地区文化祭等、学校との共催の行事に多数の住民が参加する。

☆児童の実態☆

- ・素朴で明朗かつ勤労意欲も高い。
- ・小規模校の特性から面倒見が良く、協力し合い活動に取り組むことができる。
- ・節度ある態度で行動できるが、問題意識をもつことや自己表現することがやや乏しい。
- ・家庭的には共働きが多いが、祖父母との同居による落ち着いた家庭環境の中で育てられている児童が多い。

峠下小学校「体づくり運動」の基本的考え

子どもたちの遊びや日常生活の変化に伴い、運動の機会が減少し、体力、運動能力の低下傾向が課題として顕著に見られるようになりました。そこで、体づくり運動の基本として、

- 体を動かす楽しさ心地よさを体験させる
- スポーツに基礎となるやさしい活動で日常の身のこなしが巧みにできるようになる
- 体を動かすことで、精神的な安らぎや心の解放を体験させる
- 運動・スポーツを通じて仲間と豊かに関わることができるようにする
- 児童の目的意識を高揚させるため、カードなどの掲示を工夫する

以上のような様相を取り入れた活動を体育の時間や休み時間の遊び、さらには放課後や休日の児童の活動の中に取り入れ「運動が楽しい!」「体を動かすことが好き!」になることを目指していきます。

6年間を見通した体力づくり記録カード

体育館の入口には全校児童の記録カードフォルダーが用意されています。中には「なわとび記録会・記録賞」「水泳学習カード・記録賞」「スキー学習カード・記録賞」などが入っており、1年生からの記録（タイム・回数）や認定級が継続して記載されています。それぞれの種目で「今年の数値目標」をたてることができ、意欲をもって取り組むことができよう工夫してあります。反省の時も「なわとびの二重跳びが去年より10回多くできました」「スキーが5級から2級にあがりました」など、一人一人が頑張った成果を毎年振り返ることができます。



記録カードフォルダー



なわとび記録会

学年縦割班～体のびのび活動～

学年を超えての縦割班対抗の運動を中心とした活動「体のびのび活動」を、年15回程程度計画しています。保健体育委員を中心に計画を立て、バトンリレーやつなひきなどの運動会で経験する種目を入れたり、鉄棒や大縄跳び、短縄とびなど回数を競う種目を入れたりしながら、できるだけ児童が主体的に体力づくりに取り組むことができるよう工夫しています。

なわとび練習の1年間の成果発表である「なわとび記録会」も2月の最後の活動として位置付けています

家庭・地域と連携した「土曜子ども運動教室」

運動好きの子どもたちを育てようと、学校支援ボランティア、保護者の協力で『土曜子ども運動教室』を3年前から始めました。約3Kmのランニングに始まり、うんてい・鉄棒などの器械運動、Tボールやドッジボールなどの球技やリレー・鬼ごっこなど、楽しんでたくさん体を動かすことを中心に行っています。毎週土曜日に約3時間運動することで、体力が伸びてきました。

毎年2回、町の体力測定に参加し自分たちの体力を確かめています。仲間と一緒に体を動かすことが自信につながり、「大沼湖畔駅伝」や「大沼グレートラン」など、地域のスポーツ大会にも意欲的に参加するようになりました。



うんていに挑戦！